

平成30年度予算発表の市長コメント（要旨）

- 平成30年度当初予算は、4月に市長選挙を控えているため、いわゆる「骨格予算」となっている。
- 第六期総合計画や総合戦略などを着実に推進し、住民福祉をより一層向上させるべく、政策・施策評価の結果等を踏まえながら、予算編成を全庁一丸となって進めてきた。
- 社会保障関係経費をはじめとする義務的経費や、公営住宅建設工事などの継続事業が中心となるものの、地域経済や市民生活に影響が生じることのないよう留意してきた。
- この結果、帯広市がさまざまな行政サービスを展開していく上で必要となる経費について配慮した予算となったものと考えている。